

総務常任委員会

千葉県白井市

- 日にち 令和元年10月16日(水)
- テーマ 自治組織の再構築について
- 所感 白井市の自治組織の取り組みは、学区区という多治見市で取り組み始めている地域力の枠組みと類似している。相違点は、徹底した既存組織の聞きとりを行い、職員との信頼関係ができた上で、あらゆる組織が自治組織をバックアップする仕組みを作ろうとしている点であり、最大のポイントである。今後立ち上がっていく地域でぜひ役立てていただきたい。

今、自治組織の担当課が危機感をもって取り組みはじめています。地域を知っている私たち議員も情報を共有しながら、手遅れになる前に、持続可能な、一番身近な自治組織の存続を多治見市の武器に替え、若い世代の意向もよく聞き、高齢化や防災、子育て支援につなげていけるよう、ともに尽力していきたい。



白井市での視察の様子

東京都江東区

- 日にち 令和元年10月17日(木)
- テーマ 防災体験学習施設にて体験学習
- 所感 東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生した場合、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機関を受け持つ場所となる。

平常時には国営公園と都立公園が融合した広大なスペースとなっており、広大な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練やイベントが実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶ場となっている。

その一角にある、防災体験学習施設「そなエリア東京」では、地震発生後72時間の生存力を身につける体験学習ツアーが体験できる。タブレット端末を使い「防災クイズ」に挑戦し、「AR体験」で危険箇所(被災現場)を確認した。

1人1台のタブレット端末の使用は、自助を自覚する良いツールである。

経済建設常任委員会

愛知県常滑市

- 日にち 令和元年10月28日(月)
- テーマ 「やきもの散歩道地区景観計画」と観光振興について
- 所感 やきもの散歩道の特徴は、再整備が難しい細い路地に昭和中期以前に建てられた工房跡や土管を使った小径などが散在する点である。現地では、空き家や空き工房を活用してカフェや雑貨屋が点在し、外部からの移住定住も進んでいる。また、常滑焼のシンボルともいえる招き猫をはじめとする、インスタ映えするスポットが多く、若い世代から高齢者まで幅広く取り込んでいることが現在の姿につながっている。

今的美濃焼業界が迫られている現実は、かつて常滑焼が対応してきた歴史的経緯と似通ったところが少なからず存在する。多角的なブランディングを図っていくという観点では、参考に取り入れられる点が多いはずである。市議会としても、美濃焼産業の現状を見つめ、今後さまざまなアクションを促していくことが求められていくと考える。

神奈川県小田原市

- 日にち 令和元年10月29日(火)
- テーマ エリアコーディネートについて
- 所感 「小田原市歴史的風致維持向上計画」は、神奈川県内では初めて国から認定された計画である。

この計画を実行している小田原市の特徴は、ゾーニングを伴うまちづくりの計画を都市計画部局と経済部局を統合した「まちづくり交通課」が、部署横断的に担っている点である。さらに、文化財の管理も教育委員会ではなく、文化系のセクションがまちづくりと一体で担っている。こういった大所高所からの行政を実施している点は極めて興味深いものである。ただし、首長の強いリーダーシップによるところが大きいのは否めないため、採用には慎重であるべきかもしれない。



なりわい交流館での視察の様子

厚生環境教育常任委員会

神奈川県川崎市

- 日にち 令和元年10月28日(月)
- テーマ 学習や就労に関する相談、支援について
- 所感 視察先の「フリースクールえん」は、川崎市の委託を受けた日本初の公設民営の施設であり、学校外での子どもたちの居場所として、川崎市子ども夢パークの中で運営されている。施設は当事者の意見が反映されたものになっていることを実感した。「学校復帰にこだわらない居場所・学び場」、「不登校を隔離せず、子ども同士が遊べる環境」など、理事長からのこれまでの経験を含めた非常に内容の深い話の中からさまざまな気づきが生まれた。

本市においても、通学費、合宿費等は国に要望できるとの話である。さわび学級や、今後、民営のフリースクール等が開設された際の情報提供、新たなフリースクールの場としての空き家の有効利用の可能性や、ユニセフの「子どもにやさしいまち宣言」として取り組むことで、魅力の発信にもつながるので検討していきたい。

東京都目黒区

- 日にち 令和元年10月29日(火)
- テーマ フリースクールRizについて
- 所感 フリースクールRizは、元不登校生たちが運営するフリースクールである。当事者の想いを直接聞くことができ、経験者だからこそできる支援のあり方があることに気づいた。Rizでは、いじめだけでなく、さまざまな要因で不登校になっている生徒が通っている。

特徴として、多くのスタッフが元不登校生、時間の過ごし方は自由、大学生を中心としたボランティアによるスタッフ体制など、利用者と当事者の距離が近くなることで新たな発見があったと感じた。自分の居場所がないと感じて苦しんでいる人に対して、少しでも安心して過ごせる場所の提供を実現しているフリースクールRizの活動を参考とし、本市の取り組みにつなげたい。



フリースクールRizでの視察の様子

この議会だよりは1部当たり11.44円(税込み)で、40,300部作成しています。



リサイクル適性

たじみ議会だよりは環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用しています。この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物を破棄するときは、燃やさないで、資源回収等に出しましょう。